

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成28年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立県民の森保健休養施設	所管課	森林環境部 県有林課
所在地	南アルプス市上市之瀬1760 外	設置年月日 (改築年月日等)	昭和43年8月8日
指定管理者	南アルプス市		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立県民の森保健休養施設設置及び管理条例		
設置目的	青少年その他の県民が恵まれた自然の中で緑に親しみ、人と自然との貴重なふれあいを体験する場を提供することにより、緑化思想の高揚及び林業知識の普及を図り、併せて県民の保健休養に資するため設置する。		
主な施設内容 (定員等)	○公園面積 14ha ○施設の内容 ・森林科学館(284.24㎡) ・自由広場(1,500㎡) ・休憩舎33.75㎡ ・展望台(24.00㎡) ・林間広場、園地、駐車場、遊歩道 等		
主な業務内容	(1)施設等の維持保全に関する業務 (2)森林に関する知識の普及のための催しの実施に関する業務 (3)自然に関する知識の習得に資するレクリエーション及び野外活動の機会の提供に関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	山梨県森林公園金川の森(どんぐりの森、スポーツの森、かぶとむしの森等) 山梨県立武田の杜保健休養林(健康の森、鳥獣センター等) 県民の森南アルプス市施設(ウッドビレッジ、グリーンロッジ等)
---------------------	--

3 利用状況

単位：人、%

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
利用者数	森林科学館入館者数	8,482	8,991	12,370	
	利用者数合計	8,482	8,991	12,370	
	目標値	10,000	11,000	12,000	
	目標値設定の考え方及びその理由	前指定期間実績 +1千人	前年度目標値 +1千人		
	対26年度比		106.0%	145.8%	
利用率	27人/日	28人/日	39人/日		

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成27年度	平成28年度 (計画値)	平成28年度 (実績値)	
収入	施設利用料				
	指定管理者委託料	14,492,000	14,392,000	14,392,000	
	その他	70,800	500,000	60,500	
	収入合計(A)	14,562,800	14,892,000	14,452,500	
支出	人件費	9,979,442	10,107,000	10,242,453	
	県への納付金				
	管理運営費	4,653,065	4,785,000	4,481,547	
	うち外部委託費(B)	2,115,984	2,442,000	2,374,608	
	支出合計(C)	14,632,507	14,892,000	14,724,000	
	収支差額(A-C)	△ 69,707		△ 271,500	
	外部委託比率(B÷C)	14.5%	16.4%	16.1%	
	利用者一人当たりの経費	1,611.8	1,199.3	1,163.5	

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成28年4月～平成29年3月 実施方法:来園者及びイベント参加者へのアンケート 回答数:207人
-------	--

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
イベント参加の満足度	93.2%	5.8%	1.0%	
施設全般の満足度	60.0%	37.0%	2.0%	1.0%

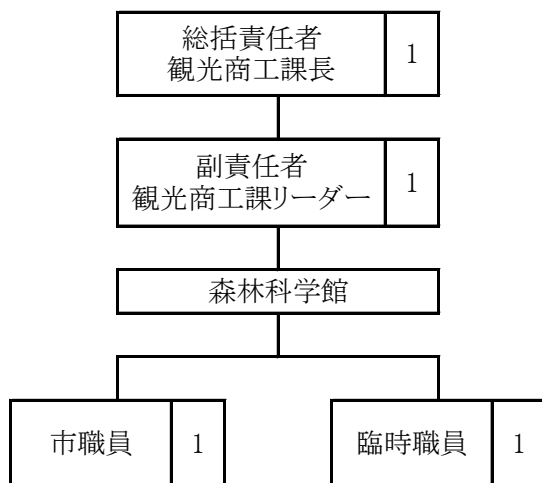
利用者の意見	自然とふれあうイベントを多く開催し、全体の満足度は高かった。改善を求めるものとして、さらなる開催イベントの追加や情報発信の強化に関する意見があった。
利用者の意見への対応	県民の森の立地状況を活かした自然に関するイベントを今後も継続開催するとともに、季節に応じた新たなイベントを企画する。周知に関する改善意見に対しては、フェイスブックの更新頻度を高めるとともに、新たに県内アウトドアショップや自然体験のできる県の類似施設にもチラシ配布を行うなど情報発信の強化を図った。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	業務計画のとおり実施できた。特に登山道のパトロール等は入念に行い、安全管理に努めた。	適切な維持管理が行われている。特に、老朽化した施設や登山道の点検及び修繕、危険木の除去等にも適時に対応しており、評価できる。
運営業務	市の管理する隣接施設と連携し、自治体、学校、福祉施設などの受入れを行ったり、施設紹介パンフレットのアウトドアショップへの配布や、SNSで最新情報を発信するなど広報活動を強化し、施設の活用促進に努めた。	学校等団体への支援事業を行ったり、SNSなどの情報発信を取り入れる等、積極的な広報活動も行うなど、利用者確保への努力が確認できた。
利用状況	森林科学館展示の季節ごとの入れ替えや、林間学校の積極的な受け入れ、冬期の様々なイベントの開催により、魅力発信をすることで利用者の増加に努めた。	森林科学館を活用したイベントや、利用者要望の多かったキャンプ教室など新たなイベント開催もあり、利用者数の目標は103%の達成度となった。 季節ごとの魅力ある各種事業を企画し、施設利用率の低い冬期にも利用者を確保するなど、利用者の増加となったことは評価できる。
収支状況	支出については概ね予算の範囲で行うことができた。	支出の削減に努め、概ね計画書どおりの収支であった。
自主事業	季節毎にコンサートを開催するなど、多くの人に県民の森に訪れてもらうきっかけ作りを行った。	施設及び櫛形山周辺の季節ごとの自然を感じられる事業を行っており、利用者ニーズに合致した事業企画は評価できる。
利用者満足度	森林科学館の展示の工夫や、イベントで登山ツアー、カヌー体験などの体験メニューを企画し、参加者の高い満足度を得ることができた。	森林科学館内展示及び自主事業の内容に工夫をこらし、高い満足度を得たことは、評価できる。
運営目標の達成状況	H28 森林科学館利用者数 目標値 12,000人 → 実績値 12,370人 目標値に対し約103%の利用者であった。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	県民の森の特徴を活かした自然を楽しめるイベントを多く開催した結果、高い利用者満足度を得ており、指定管理業務は適正に行われたものと評価できる。 利用者から施設やイベントの周知の強化についての要望が寄せられたため、情報発信の強化について指導した。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	フェイスブックによる情報発信の頻度を高めるとともに、新たに県内アウトドアショップや自然体験のできる県の類似施設にもチラシ配布を行うなど、広報活動を積極的に進めた。	

7 管理体制(組織図)

平成28年4月1日現在



総括責任者	1 人
副責任者	1 人
市職員	1 人
臨時職員	1 人
合計	4 人